

通信・ITネットワークの分野では、日々新しい技術が開発され、より効率的で、より安価なサービスが次々と生み出されています。知らないことは、イコール企業利益の損失です。そこで私たち大和電設工業は、情報通信やITソリューションの『知って得する最新情報』を、お世話になっている皆様に定期的にお伝えしていきます。隔月発刊のDDK通信、ぜひお楽しみください。

Windows10のサポート終了

「Windows10」は2015年にリリースされて以来、多くの個人や企業に利用されてきました。そのWindows10も2025年10月14日をもってサポートが終了します。

Windows10のサポートが終了するということはMicrosoftによる保守が終了し、新たな機能の提供や現行の機能改善、不具合の改良、セキュリティアップデートといった対応が行われな

くなるということです。サポート終了後もWindows10を使い続けると、セキュリティ面のリスクが高まったり、ソフトウェアが非対応になったりといった問題が発生してきます。今回はサポートが終了した場合の問題点と、Windows11へのアップグレードについてみていきたいと思います。

サポート終了後に起こる問題点

問題点①

セキュリティ更新プログラムの停止問題

Windows10のサポート終了により、最も大きな影響を受けるのがセキュリティです。サポートが終了すれば、プログラムの不具合や設計ミスによるセキュリティ上の欠陥が見つかったも、修正プログラムは配布されません。その為、ウイルス感染や不正アクセスといった被害に遭いやすくなります。

2024年のサイバー攻撃件数は過去最高を記録し、1日に約330万回ものサイバー攻撃が検知され、その総数は前年比154%増加したそうです。ランサムウェアやDDoS攻撃など近年のサイバー攻撃の増加傾向を考えると、セキュリティ面は常に最新の状態にしておく必要があるでしょう。

問題点②

ソフトウェア非対応問題

サポートが終了すると、Windows10に対応するソフトウェアや周辺機器も徐々に減少していきます。

ChromeやEdgeといった主要なウェブブラウザのサポート停止がおこります。使えないことはないと思いますが、新しい機能やサービスを楽しむことができなくなる可能性があります。また、プリンタやスキャナ、外付けHDD等の外部デバイスも非対応となる可能性があります。



Windows11へのアップグレード

●Windows11へのアップグレード

Windows10のサポート終了に伴いMicrosoftが推奨しているのは、Windows11へのアップグレードです。Windows11にアップグレードするには、今お使いのパソコンが以下のハードウェアの要件を満たしている必要があります。

プロセッサ	1GHz以上、2コア以上の64ビット互換プロセッサ (またはSystem on a Chip)
メモリ	4GB以上
ストレージ	64GB以上
ファームウェア	UEFI、セキュアブート対応
TPM	バージョン2.0が有効
ディスプレイ	9インチ以上、720p解像度以上の高解像度ディスプレイ
グラフィックス	DirectX 12対応のWDDM 2.0ドライバーを搭載
インターネット接続	初回セットアップ時にはMicrosoftアカウントとインターネット接続が必要

参考元:Microsoft

①パソコンのシステム要件の確認

今お使いのパソコンがWindows11に対応しているかを確認する方法として、マイクロソフトが提供している「PC正常性チェック」というアプリを利用する方法があります。このアプ

リを利用すれば、左記表のシステム要件を満たしているのがチェックすることが可能です。「PC正常性チェック」アプリは、Windows 11 公式ページからツールをダウンロードしPCにインストールして使用します。

②無償でアップグレード

「PC正常性チェック」アプリで確認が取れましたら、Windows10からWindows11へ無償でアップグレードを行います。アップグレードの方法は以下の通りです。

- 1.スタート→設定→更新とセキュリティ→Windows Update画面でWindows10を最新にしておく
- 2.Windows11をダウンロードしてインストールする
- 3.パソコンを再起動させる

●Windows11が非対応のパソコンだった場合

アップグレードが難しい場合は、Windows11が搭載された新しいパソコンへの買い替えを検討しましょう。

また、非対応パソコンであったとしてもWindows11を無償でインストールする方法がYouTube等で紹介されています。ただし、再インストールとなるのでアプリ等は消えてしまいますし、セキュリティ面も保証されていないので個人の責任で行うことになります。